

# スキー・全日本選手権クロスカントリー競技

## 立花・栗山組が優勝



▲ 快調な走りを見せた立花

全日本スキー選手権クロスカントリー競技(スプリント・パシユート)が1月25日から29日まで、新潟県十日町吉田クロスカントリー競技場で行われ、男子チームスプリント(2人×1.3キロ×3回)で立花遼(経済)

23分5秒30で優勝した。立花は「ベストレインングを中心に練習してきた。周りの支えが優勝につながった」と話した。大学生として初めて大会に臨んだ栗山は「練習環境の変化など苦労したが、先輩方とやってきた練習の成果を出せた。体の調整や雪の状態の良さが優勝につながったと思う」と話した。

今後の目標として、2人とも「インカレでも優勝し、他の種目でも良い成績を残せるように練習していきたい」と話した。(林 裕太・法2)

# レスリング・デーブシュルツ記念国際大会

## 全日本選抜のフリー55kg級 半田主将が優勝



▶ 優勝した半田主将(写真提供=財団法人日本レスリング協会)

1月31日から2月1日、フランススタイル55kg級にまで、米國・コロラドスプリングズでレスリングのデーブシュルツ記念国際大会が行われた。専大からは全日本選抜として、半田守主将(経営4・網野高)が、学生選抜としてグレコローマン66kg級に魚住彰吾(経営1・育英高)が派遣され、半田主将が優勝した。

追加点を取れたことが優勝できた要因」と振り返り、「これからは自分のペースでレスリングをしていく」と話した。魚住は準決勝で今大会優勝の中国人選手に敗れた。「優勝した選手は練習でもやりにくさがある。昨年と比べ、勝負どころで仕掛けられたところ、グラウンドの攻撃で



位に入賞した。高橋は決勝戦終盤、3ポイントで残り30秒で相手と追いつかれ、2ポイントで時間切れ。延長戦の1分間勝負は「勝てるのではないかという思いが頭にちらつき、気が緩んで相手に突かれた」と話した。

# フェンシング・ジュニアオリンピックカップ

## 女子フルーレ 高橋が2位

## 谷口は男子エペで3位

1月11、12の両日、JOCジュニアオリンピックカップが駒沢屋内球技場で行われ、女子フルーレで高橋風子(商1・聖霊女子短大付高)が2位、川村理紗(商1・指斐高)が3位、男子エペでは谷口琢弥(ネット情報1・鹿児島南高)が3位と活躍も光った。

谷口は準決勝で7-15と敗れるも、3位決定戦は気持ちを切り替え、15-14で勝利した。「3位と4位とは違う。勝つことができてよかった」と話した。

予選を全勝で通過し、決勝トーナメントも順調に勝ち進んだが、決勝では一歩及ばず12-15で敗れた。(尾島 里美・文2)

# 男子チームスプリント



優勝を喜ぶ立花(右)と栗山

# スケート・日本学生氷上選手権

## スピード 男子総合3位に

## 田中が1万メートルで2位と健闘

1月6日から9日まで、栃木県日光市の日光霧降スケートセンターで日本学生氷上競技選手権(氷上インカレ)が開催された。専大はスピード部門の3種目で2位となり、同部門男子総合で3位となった。個人では田中洸司(経済2・苫小牧工高)が男子1万メートルで14分44秒82の

大塚樹(経済4・吉田高)・小林拓斗(経済4・岡谷南高)・寺島翔平(経済2・佐久長聖高)・青木唯人(経営1・市立長野高)組が、同チームパシユートで田中・齋藤紘彬(経営1・帯広南商高)・小坂龍(商1・

白樺学園高)組が2位に入賞した。糸川敏彦監督は「厳しい状況とはわかってはいたが、それ以上に選手の方が足りていなかった。しかし、3日目4日目で何とか取り戻すことができた。3位という結果を手にするのができた。各個人のレベルアップと勝負に対する強い気持ちを持ち続けることが大事だ」と次回への課題を語った。

アイスホッケー部はベスト16

氷上インカレのホッケー部門は1月6日から9日まで、霧降アイスアリーナほかで行われた。専大アイスホッケー部は初戦で久留米大に13-0と大勝するも、続く2回戦で東洋大に1-4で敗れ、ベスト16に終わった。

最終ラインを支える不動のCB、そして主将を務めた鈴木。圧倒的な攻撃力が持ち味のチームだが、関東大学リーグ戦では彼を筆頭に、チームをけん引した。鈴木は全試合フル出場を果たし、ベストイレブンに輝いた。

# 男子2種目で優勝

## スピードスケート競技会

1月18、19の両日、富田士急ハイランドセイコ・オーバルで行われた関東甲信越大学スピードスケート競技会では、2人が1位を獲得した。男子3000メートルで千葉

田中がそれぞれ優勝。千葉は「調子はそれほどよくなかったが、結果的に1位になれてよかった。今回の結果を踏ま

来年は「調子はそれほどよくなかったが、結果的に1位になれてよかった。今回の結果を踏ま

来年は「調子はそれほどよくなかったが、結果的に1位になれてよかった。今回の結果を踏ま

来年は「調子はそれほどよくなかったが、結果的に1位になれてよかった。今回の結果を踏ま

# 専大ポッド

No.323

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ「スポーツ」からアクセスしてください  
専大ポッド編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) 大会結果を配信しています



▶ 男子1万メートルで2位となった田中(写真提供=川口ひろし氏)

# サッカー部

## 鈴木雄也 (経済4・高相武)



レブン、MVPに輝いた。「MVPはチームメートの支えがあったからこそ」と、仲間への感謝を口にした。

開幕前には「日本一のチームの主将を務めたい」と話したが、プレー中では誰よりも声を出し「負けていても下を向かないよ」



# 王者の主将を全う

チームメイトに感謝

# サーブルチャレンジ・カップ 香川県大会 張真が準優勝

12月26、27の両日、2012年度5回目となるサーブルチャレンジ・カップの香川県大会が東かがわ市とらまる公園体育館で行われ、張真龍太(経済2・玉野光南高)が準優勝となった。